

## J X T G 童話賞 選考委員のご紹介

**西本 鶏介** 児童文学者

児童文学や児童文化に対する評論、作家・作品論、民話の研究、創作など幅広く活躍。絵本や民話の再話も多い。また、坪田譲治文学賞、椋鳩十文学賞などの選考委員も務める。近著に「おめでとうのさくらまんじゅう」（絵本塾出版）「まよなかのたんじょうかい」（すずき出版）、「西本鶏介児童文学論コレクション（3巻）―巖谷小波文芸賞特別賞受賞―」（ポプラ社）などがある。

**【西本先生からのメッセージ】**

J X T G 童話賞の基本的なテーマはある温かな心のふれあいです。それさえ守っていただければ、どんな題材でも構いません。大切なことは何を書くかではなく、いかに面白く書くかです。一番つまらないのは、誰でも思いつくような発想や描き方をした類型的な作品です。童話だからといって動物をやたらと擬人化したり、ファンタスティックなお話にする必要はありません。現実を舞台にした人間のお話だって、いくらでも優れた作品が書けるはずです。素朴であっても、いきいきと泣き笑いのできる作品、空想の出来事が本当の出来事のように思える作品、みずみずしい感性のイメージ豊かな作品、個性的でありながら誰もが共感できる童話、そんな童話を待っています。人を感動させるためには、見ると自ら感動できる心が必要です。何気ない風景や人間の姿にも童話になるものはいくらでもあります。時にはじっくりと眺めてください。

**立原 えりか** 童話作家

「人魚のくつ」でデビュー。ユーキャン「立原えりかの童話塾」塾長、広島アンデルセン、池袋コミュニティカレッジ他で童話創作教室の講師などを努める。代表作は「木馬がのった白い船」ほか、「うたってよ、わたしのために」（ポプラ社）、「あんず林のどろぼう」（岩崎書店）、詩集「あなたが好き」（大日本図書）、「王女の草冠」（愛育社）、近著に「立原えりかのグリム童話」（朝日学生新聞社）などがある。

**角野 栄子** 童話作家

代表作は「魔女の宅急便」（福音館書店）、「なぞなぞあそびうた」（のら書店）、「ネッシーのおむこさん」（金の星社）、「アッチ コッチ ソッチのちいさなおばけシリーズ」（ポプラ社）、「わたしのママはしずかさん」（偕成社）、「魔女からの手紙」、「ちいさな魔女からの手紙」（ともにポプラ社）、「ラストラン」「ナーダという名の少女」（角川書店）、近著に「トンネルの森 1945」（角川書店）、「キキに出会った人々」（福音館書店）などがある。2013年に第48回東燃ゼネラル児童文化賞（現JXTG児童文化賞）、2018年に国際アンデルセン賞・作家賞受賞。

**中井 貴恵** 女優・エッセイスト

多数の映画、ドラマに出演。現在は「大人と子供のための読みきかせの会」の代表を務める。2006年より様々なジャンルの音楽と朗読を合体させた朗読公演「音語り」にも精力的に取り組んでいる。「あらしのよるに」「きいろいばけつ」「ナゲキバト」「晩春」「秋日和」「東京物語」「秋刀魚の味」などを全国で公演中。エッセイスト、絵本翻訳家として著作物多数。

**宮西 達也** 絵本作家

人形美術、グラフィックデザイナーを経て絵本を書き始める。代表作は「おまえうまそうだな」（ティラノサウルスシリーズ：ポプラ社）、「おとうさんはウルトラマン」「パパはウルトラセブン」（ともに学習研究社）、「ヘンテコリンおじさん」（講談社）、「きょうはなんてうんがいいんだろう」（鈴木出版）など多数。

**薫 くみこ** 児童文学作家

高島屋の広告デザイナーを経て、児童文学、絵本、童話の創作を始める。代表作は「十二歳の合い言葉―12歳シリーズ」（ポプラ社）、「あのときすきになったよ」（教育画劇）、「ハキちゃんの『はっぴょうします』」（佼成出版社）、「ちかちゃんのはじめてだらけ」（日本標準）、「なつのおうさま」（ポプラ社）、「みんなでんしゃー赤いでんしゃシリーズ」（ひさかたチャイルド）、近著に「げんきのみかたパンツちゃん」「だいすきのみかたパンツちゃん」（ポプラ社）など多数。

## J X T G 童話賞に込めた3つの願い

### 1. “たくさんの人に「心のふれあい」をお届けしたい” ～童話集「童話の花束」～



当社は、J X T G 童話賞受賞作品を一冊の童話集「童話の花束」としてまとめ、全国の教育機関や児童福祉施設、海外の日本語学校などに毎年寄贈しています。

1973年の発刊以来、これまで650編以上の作品が収められ、時代を反映した心のふれあいの移り変わりが読み取れます。

### 2. “子どもたちの夢を応援したい” ～次世代育成・支援～

「童話の花束」は、チャリティー販売を通じてJ X T Gグループの石油特約店やL P ガス特約店の皆様にお買い上げいただく他、J X T Gグループ各社や従業員も購入し、売上金はすべてJ X T G 童話基金に繰り入れられます。同基金から、社会福祉法人全国社会福祉協議会（以下、「全社協」）に寄付を行い、全社協が設立した「J X T G 奨学助成制度」により、児童福祉施設などで暮らす子どもたちが、大学や専門学校進学時の入学支度金として活用されています。2017年は494名への助成を決定し、4,940万円の給付を行いました。2004年3月の助成制度創設以来の助成決定者数は5,266名、累計助成金額は5億1,585万円となっています。



### 3. “元気な森林づくりの力になりたい” ～環境保全～



「童話の花束」に使用する製紙原料には、J X T Gグループが森林整備に取り組んでいる地域の間伐材が活用されています。間伐などの森林整備により、木々が健全に生育することから、国内の二酸化炭素の吸収に貢献しています。J X T Gグループは、「童話の花束」を通じて、国内の森林保全を推進する林野庁の「木づかい運動」を応援しています。

なお、過去の受賞作品やJ X T G 童話賞、J X T G 童話基金の詳細については、「童話の花束」ウェブサイト (<https://www.jxtg-group.co.jp/hanataba/>) でご覧ください。

## 昨年（第49回）の応募状況とJXTG童話賞のあゆみ

### 1. 昨年（第49回）の応募総数：12,591編

（一般の部 8,623編、中学生の部 2,395編、小学生以下の部 1,573編）



第49回JXTG童話賞 授賞式の様子

### 2. JXTG童話賞のあゆみ

#### (1) 歴史

- 1970年 宅配灯油の顧客向け販促品として童話集『アンデルセンをおはなししましょう』を発行（共同石油）
- 1973年 第1回「作品公募」を実施
- 1974年 東京善意銀行を通じて都内福祉施設に『童話の花束』の寄贈を開始  
（当初は毎年5,000冊、近年は全国の福祉施設に約1万2,000冊を寄贈）
- 1976年 第2回「作品公募」を実施（以降、毎年実施）
- 1992年 「共石『童話の花束』基金」を設立  
（社会福祉分野への『童話の花束』売上金の寄付を開始）
- 1993年 「JOMO童話基金」に名称変更
- 1999年 ウェブサイト『童話の花束』を開設
- 2004年 「JOMO奨学助成金制度」の運営を開始  
（社会福祉法人全国社会福祉協議会へ運営を委託）
- 2010年 「JX童話賞」に名称変更
- 2012年 タレント・新山千春さんをPR大使に起用  
（2012年4月10日～2013年12月31日）  
全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会の後援取得
- 2013年 「JX-ENEOS童話賞」に名称変更
- 2015年 全国小学校国語教育研究会、全日本中学校国語教育研究協議会の後援を取得
- 2017年 「JXTG童話賞」に名称変更

#### (2) 受賞・表彰一覧

- 1986年 東京都青年文化協会より感謝状を受領
- 2002年 ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞
- 2002年 毎日社会福祉顕彰を受賞
- 2003年 メセナ大賞2003「児童文化貢献賞」を受賞
- 2007年 社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞
- 2009年 社会福祉法人全国里親会より里子支援に対する感謝状を受領
- 2010年 社会福祉法人全国児童養護施設協議会より児童養護施設の児童支援に対する感謝状を受領
- 2010年 社会福祉法人全国母子生活支援施設協議会より母子生活支援施設の児童支援に対する感謝状を受領
- 2016年 社会福祉法人全国児童養護施設協議会より児童養護施設の児童支援に対する感謝状を受領

#### (3) 認定・認証

- 2017年 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会より、東京2020参画プログラムの公認プログラム（文化）として認証を取得



昨年（第49回）の受賞作品

一般の部

【最優秀賞】

月の道

作者：富田 龍一



【優秀賞】

ばあちゃんからの  
ラブレター

作者：齋藤 まどか



おいっ子のギモン

作者：井手 孝史

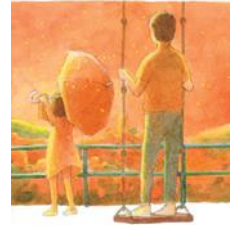


中学生の部

【最優秀賞】

ゆらゆらな傘の空

作者：藤井 早紀子



【優秀賞】

ブリキと向日葵

作者：羽瀨 真穂



風鈴の思い出

作者：野口 咲希



小学生以下の部

【最優秀賞】

今日から六月！？

作者：馬瀨 和奏



【優秀賞】

天使のトンボ

作者：曾 泰霖



ふたりだけのヒミツ

作者：寺本 夏芽

